

平成 25 年 2 月 1 日

最近、新しいポリオの予防ワクチンが利用可能になりました。以前から、ポリオの予防接種自体は受けることができましたが、ポリオの予防ワクチンが利用できることにより、これまでの3種混合(破傷風、ジフテリア、百日咳)ワクチンと同時に摂取できる「4種混合ワクチン」として利用できるようになりました。今回は、新しいポリオワクチンと4種混合ワクチンについてお話しします。



### ★ポリオとは？

ポリオ(脊髄性小児麻痺)はポリオウイルスへの感染により起こる病気で、主に1~2歳の子どもに多い病気です。ウイルスに感染し、脊髄に入り込むことで手や足に麻痺があらわれることがあり、その麻痺は一生残ります。残念ながら、麻痺の治療法は見つかっていません。だからこそ、「予防」することが大切なのです。

### ★新しいポリオのワクチン「不活化ポリオワクチン」とは？

今まで、日本ではポリオの予防に「経口生ポリオワクチン」が用いられてきました。経口生ワクチンとは、毒性や発病力を弱めたウイルスを飲むことで、安全にウイルスに対する免疫をつけるお薬です。弱いながらも生きたウイルスを使ったワクチンのため、場合によってはポリオの症状が現れることがあります。

2012年9月、新たに「不活化ポリオワクチン」が利用できるようになりました。これは、感染力や毒力をなくしたウイルスの成分で作ったもので、副作用はきわめて少ないとされています。しかし、1回接種しただけでは十分な免疫を獲得・維持できないため、数回の接種が必要です。

### ★4種混合ワクチン

今まで予防接種に使われてきた3種混合(ジフテリア・百日せき・破傷風)ワクチンに、不活化ポリオワクチンを加えたワクチンが4種混合ワクチンです。1回の接種で4種類の感染症に対する免疫力を高めます。生後3ヶ月の赤ちゃんから定期予防接種でき、ポリオの生ワクチンと3種混合ワクチンを別々に接種する場合に比べて、合計の接種回数が少なくなります。



### ★不活化ポリオワクチン及び4種(3種)混合ワクチンの接種スケジュール

4種混合ワクチンは3種混合ワクチン同様、国の定期接種に指定されています。現在、子供の年齢によって、3種混合ワクチンを接種しているかどうか、不活化ポリオワクチンを接種しているかどうかの違いによって、4種混合ワクチンの接種が選択される場合と、3種混合ワクチン(+不活化ポリオワクチン)の接種が選択される場合があるため、これまでのワクチン接種などを参考に、医師に相談しましょう。

また、4種混合ワクチン以外にも接種すべきワクチンがいくつかあります。日本小児科学会や日本感染症情報センターなどが、推奨される予防接種スケジュールを発表していますので、参考にしてください。

日本小児科学会が推奨する予防接種スケジュール 2012年11月1日版 日本小児科学会

ワクチン	種類	乳児期		幼児期				学童期										
		6か月	2か月 3か月 4か月	5か月	6-8か月	9-11か月	12-15か月	16-17か月	18-23か月	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳以上
インフルエンザ菌b型(ヒブ)	不活化		① ② ③				④(注1)											
肺炎球菌(PCV7)	不活化		① ② ③				④											
B型肝炎(HBV)(注2)	不活化		① ②		③													①②③(注3)
ロタウイルス	生		① ②															
四種混合(DPT-IPV)	不活化		① ②		③		④(注6)											(7.5歳まで)
三種混合(DPT)(注7)	不活化		① ②		③		④(注6)											(7.5歳まで)
ポリオ(IPV)(注7)	不活化		① ②		③		④(注6)											(7.5歳まで)
BCG	生		①															
麻疹、風疹(MR)	生						①							②				③④ 中1、高3での接種(注8)
水痘	生						①		②									(注9)
おたふくかぜ	生						①											②(注9)
日本脳炎(注10)	不活化																	① ② ③ (7.5歳まで)
インフルエンザ	不活化																	毎年(10月、11月などに)①、②
二種混合(DT)	不活化																	11~12歳①
ヒトパピローマウイルス(HPV)	不活化																	①②③(注11)

     定期接種の期間   
      任意接種の推奨期間   
      定期接種の接種可能な期間   
      任意接種の接種可能な期間   
      添付文書には記載されていないが、小児科学会として推奨する期間

日本小児科学会ホームページより

また、最近よく使われるようになったスマートフォン(高性能携帯電話)のアプリを利用する方法もあります。アプリの1つ「予防接種スケジューラー」を使えば、ワクチン接種予定日の管理や、ワクチンの解説などが閲覧できます。育児中の方や、今後、出産を予定されている方は、このようなツールを利用するのも1つの方法です。

昨今、接種可能なワクチンが増え、接種スケジュールの管理が煩雑になってきています。スケジュール表やアプリなどのツールを活用し、計画的に予防接種が受けられるように心がけましょう。

参考: SAFE-DI ワクチン アルフレッサ株式会社編集発行  
厚生労働省 HP ポリオとポリオワクチンの基礎知識  
日本小児科学会ホームページ

予防接種スケジューラー

対応 OS: Android 1.6 以上  
iOS 4.3 以上

価格: 無料